

【豊島区】

■実施日時：令和5年12月1日（金）14：00～16：00

■参加部署：保健福祉部自立促進担当課、ひきこもり相談窓口

■実施内容（取組状況の共有・情報交換等）

○ひきこもり支援の中心部門

- ・豊島区保健福祉部自立促進担当課自立促進グループ

○豊島区の動き

- ・令和3年度7月に「ひきこもり相談窓口」を開設
- ・「相談を受けた際の支援方法がわからない」という実態調査の回答をもとに、令和4年度には民生委員・児童委員などの支援者に向けた講演会を実施した。
- ・令和5年度は「家族支援の強化」を目的に、ひきこもり合同相談会・講演会を開催し、CRAFTに関する講演や、関係団体のブースでの相談を実施した。
また、当事者や家族がより相談しやすい環境を整えるため、10月から休日相談を実施した。
- ・区で発行している広報誌「広報としま」に月1回「ひきこもり相談窓口だより」を掲載。また、令和5年度には「生きづらさサポート特集号」を10月に発行し、全戸配布した。
- ・「ひきこもり支援協議会」は、学識経験者や家族会を含む支援団体、地域の民生委員・児童委員、青少年育成委員、当事者、医療や高齢者支援の専門家などが参加し、支援のあり方や方針を検討している。

○家族会等との連携

- ・「楽の会リーラ」、「OSD よりそいネットワーク」、「としま若者応援ネットワーク」とは、各団体が実施する講演会等の共催、後援を行うなどの連携を行っている。
- ・多摩・島しょ広域連携事業として、「ひきこもり UX 会議」と連携し、ひきこもり UX 女子会、ママ会を開催している。
- ・上記団体を含む、区内でひきこもり支援に関わっている家族会等が参加する「ひきこもり支援ネットワーク」で区と連携を図っている。

○福祉包括化推進事業

令和2年度から庁内関係課と豊島区社会福祉協議会に「福祉包括化推進員」を配置し、分野横断的に複雑・複合的な課題について情報を共有し対応する連携体制を強化した。

○他の窓口での相談

- ・生活困窮者自立支援機関（くらし・しごと相談支援センター）や子ども・若者総合相談（アシスとしま）、保健所、高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）、社会福祉協議会（コミュニティソーシャルワーカー）等にも、ひきこもりに関する相談がある。各窓口での継続した支援のほか、必要に応じ関係部署と連携して支援を実施している。

■ひきこもりサポートネットからの情報提供・事例紹介・提案等

- ・家族と本人の意図や主張が相反するなど、相談窓口が板挟みになる事例に対し、「誰が悩んでいて誰をサポートする対象にするか」という視点が重要であると提案
- ・そのような複雑な事例に対し多職種専門チームによるカンファレンスを紹介